



美しいハーモニーで心を一つに

市内の小中学校では、子どもたちの豊かな心を育てるために、芸術の秋にちなんでそれぞれに特色のある文化行事が行われています。

また、市全体の行事として、11月7日には各小学校の代表、8日には各中学校の代表が文化会館に集まり、お互いの演奏を聴き合う市内音楽会が開かれました。

参加した児童からは「多くの人がいて緊張したけど、みんなの心を合わせて納得のいく演奏ができました。」といった声が聞かれました。他校の児童生徒と日ごろの練習の成果を披露し合い、認め合う良い機会となりました。



▲小学校音楽会



▲中学校音楽会

【問い合わせ先】学校教育課 (☎ 82-1201)

観光ガイド 山陽小野田 検定クイズ

第1回 山陽小野田観光検定

～多くの方の受験ありがとうございました～

11月4日に行った「第1回山陽小野田観光検定」には、市内外から105人が受験しました。

この日のために猛勉強をしてきた人、実際に観光地や史跡を巡った人など様々な人が検定に挑戦しました。今回の検定を通して山陽小野田市の魅力を再発見し、今まで以上に愛着が持てたのではないのでしょうか。

今回の検定問題は、観光協会ホームページに掲載しています。ぜひ挑戦してみてください。<http://sanyoonoda-kanko.com/>



▲合格記念バッジ

前回の解答と解説

A15. ②本山炭鉱坑口

昭和16年に完成し、昭和38年まで使用されました。坑道は沖合約3km、最深部の深さは約200m、総延長は約19kmにおよびます。

A16. ③七瀬川

厚狭川は、山瀬、祖父ヶ瀬、祖母ヶ瀬、絹(杵)ヶ瀬、松ヶ瀬、柳瀬、広瀬という七つの瀬があることから、別名七瀬川と呼ばれています。

山陽小野田観光協会 (商工労働観光課内 ☎82-1313)

理大つうしん No.58 Tokyo University of Science Yamaguchi

<http://www.yama.tus.ac.jp>

理科教員のためのリカレント・セミナー(物理)

11月3日、本学生涯学習センター主催の「理科教員のためのリカレント・セミナー(物理)」を開催し、県内外から中学校・高等学校の理科教員14人の参加がありました。本年度は「生徒を引き付ける物理教育のあり方を考える」をテーマに、実験実習や講演を行いました。

午前は、金田和博准教授が講師を務め、「コンピュータ実験で示す物理現象」と題して、パソコンを使って「放物運動」や「定常波」などの簡単な物理現象のシミュレーションプログラムを作成しました。

午後からは、姉妹校である東京理科大学の川村

康文教授が講師を務め、身近にある材料を使って開発した実験教材「クリップモーターカー」と「かわむらゴマ」を実際に作る実習が行われました。

川村教授は、独自の調査結果のデータを用いて、「小学生は化学や生物の分野は好きで、小学校での理科離れは、物理離れであることが分かった。中高生に対しても、物理に興味を持たせるには、面白いと思わせる実験教材が必要不可欠だ。」と教材開発の重要性を強調されました。参加者も、実際に教材作りを体験し、授業でも活用できることを強く実感した様子でした。